

一人によりそう。明日へつなぐ。

ぜひ、ホームページにアクセスして下さい。

Q- 田村しんいちろう

検索

■市民相談などお気軽に声をかけてください。

議会 電話：044-200-3361 FAX：044-245-4137
E-mail：tamura@komei-kawasaki.com

公明党川崎
市議団HP



川崎市議会

田村しんいちろう議員は、12月14日、第6回定例会で①町内会・自治会運営の支援について②民生委員・児童委員の処遇改善と確保策について③聴覚障害者支援 電話リレーサービス等について④障害福祉サービス申請のオンライン化について⑤生涯スポーツ「パークゴルフ」の環境整備についての5項目について質疑しました。

プロフィール

花の台町内会会長(3期目)
宮前平中学校前PTA会長
宮前平小学校前PTA会長

町内会・自治会への新たな補助制度の創設を!

田村議員は、コロナ禍における市政だより配布方法の変更に伴い、町内会・自治会の活動を財政面から支えてきた「市政だより等配布謝礼金」の収入が得られなくなっていることで、資金不足が顕著になっており、地域福祉に関する募金などを削減したという声を紹介。

横浜市、さいたま市などでは加入世帯ごと700円の補助制度があります。町内会・自治会が行政の重要なパートナーとして、その公益的活動を安定的に継続していくため、地域活動の変化を契機に、町内会・自治会への新たな補助制度の創設が必要であること訴えました。

加藤副市長は、町内会・自治会活動に様々な影響や不安が生じている状況であると認識し「新たな補助金制度について、他都市の事例も参考にし『支援策のあり方について』検討を進めていく」と前向きな答弁をしました。



一般質問に立つ田村議員

民生委員・児童委員の処遇改善と確保策を図れ!

令和2年9月1日時点で本市では、民生委員・児童委員の定数1828人に対し1523人と、305人の欠員が生じています。このまま低下傾向が続くと制度そのものに影響を及ぼしかねず、欠員が増え続けると行政の福祉サービスが行き届かなくなります。

田村議員は、なり手不足の解消について、やりがいを作るしくみであったり、働きながら民生委員・児童委員の役割を果たせるように企業のCSRの取組として認知されるような働きかけも重要であることを主張し、活動量の増加による負担に対して活動費の見直しすべきと求めました。健康福祉局長は「有識者等で懇談会を立ち上げ、効果的な確保策や活動費について、国の基準や他の政令都市等の動向を注視し、懇談会の中で検討していく」と明言しました。

障害福祉サービスの各種申請オンライン化を!

健康福祉局長は、「オンライン化に向けた調査を行い、対面での申請を原則としている手続きなどの課題や手法について検討していく」と答弁しました。

生涯スポーツ「パークゴルフ」の環境整備の推進を!

伊藤副市長は、「競技を行う上での工夫や機会の提供について、関係団体との意見交換の場を設定して、高齢者のいきがい・健康づくりの推進を図っていく」と約束しました。

聴覚障害者支援「電話リレーサービス」の広報・周知を!

健康福祉局長は、「障害福祉の普及啓発やICT技術の利用を促進する各種講座を企画し、広く市民の理解促進・広報活動について適切に対応していく」と答えました。

力をあわせ、コロナ克服を!

田村しんいちろう議員は、区役所や保健所の現場視察を受けて第3弾の緊急要望を行い、新型コロナウイルス感染症対策として、改めて保健所機能や医療体制維持への人的支援等の必要性などを訴えました。併せて、宮前区などの市立小中学校での感染拡大について言及し、拡大防止対策を求めました。

- 1、急増する感染者やクラスターに対応するため、本市独自にBCPを発動し、逼迫する区役所対応窓口への人的支援等を至急実施すること。
- 2、対応する区役所のICT環境やスペースの確保等、クラスター発生時に柔軟に対応できる体制を整備すること。
- 3、対応する区役所職員の休暇取得や心のケアを適切に行うこと。
- 4、休日急患診療所への財政支援を拡充すること。
- 5、市民の「いのちを守る」ため、感染拡大抑止に、向けた、一層の意識啓発を図ること。



年末年始を前に福田市長に緊急要望を行う田村議員



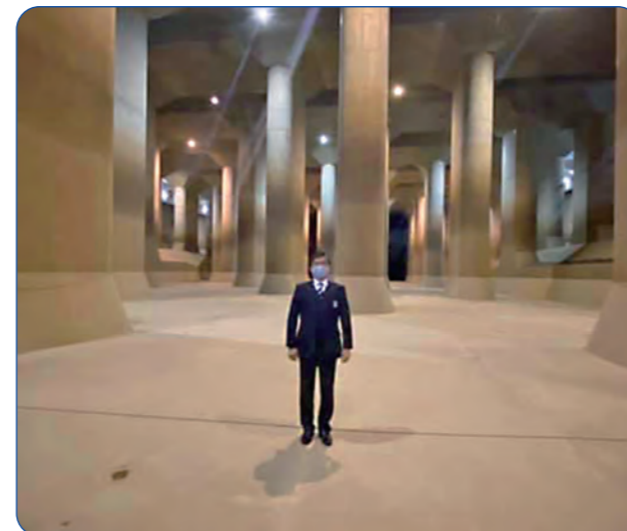
川崎市健康安全研究所の岡部信彦所長とコロナ対策について意見交換

行政視察

多摩川等流域治水対策に全力!

田村議員は、埼玉県春日部市にある防災地下神殿『首都圏外郭放水路』の視察調査を行いました。洪水被害軽減を目的に周辺5つの中小河川洪水を江戸川に排水する巨大な施設です。

地下水の揚圧力により、調圧水槽が浮くのを押さえるためには重さが必要との事で、天井に載せている土砂と梁のコンクリート、そして柱や底に打ち込まれたコンクリートの重さによって調圧水槽を支えています。



地下22mの位置にあり、長さは177m、幅78m、高さは18mの調圧水槽(50メートルプール約7,673杯分)

皆様の声をカタチに

屋根設置が実現しました!

田村議員は、周辺の町内会・自治会や近隣住民から、突然のゲリラ豪雨風や強い陽射しを防ぐ屋根を設置してもらいたいとの声を頂きました。そこで、生田緑地管理事務所の職員と現場調査を実施。2箇所の休憩スペースに屋根の設置を実現しました。



生田緑地内にある公園の休憩スペース